

平成 29 年 12 月 26 日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ  
(コード番号 8306)  
株式会社三菱東京 UFJ 銀行

## インドネシア大手商業銀行バンクダナモンへの戦略出資について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ(代表執行役社長 平野 信行、以下 MUFG)の子会社である株式会社三菱東京 UFJ 銀行(取締役頭取執行役員 三毛 兼承)は、本日、シンガポール共和国(以下シンガポール)に拠点を置く Fullerton Financial Holdings Pte. Ltd.(以下 FFH)の完全子会社である Asia Financial (Indonesia) Pte. Ltd.(以下 AFI)およびその他関連会社(AFIと併せて、以下売り手)と、売り手が保有するインドネシア共和国(以下インドネシア)の大手商業銀行 PT Bank Danamon Indonesia, Tbk.(以下バンクダナモン)株式の合計 73.8%を取得(以下本株式取得)することを目的に、関係当局等からの許認可取得を条件として、条件付株式売買契約(以下本契約)を締結いたしました。

本株式取得は、3 段階にわたって実行される予定であり、本株式取得の完了により 三菱東京 UFJ 銀行はバンクダナモンの筆頭株主となる見込みです。本株式取得により、MUFG はアジア・オセアニア地域における成長戦略を一層強化し、また、インドネシアの銀行業界全体のさらなる発展に貢献してまいります。

### 1. 本株式取得の概要<sup>[1]</sup>

- 第一段階で、三菱東京 UFJ 銀行はバンクダナモン発行済株式総数の約 19.9%を一株あたり 8,323 インドネシアルピア<sup>[2]</sup>(以下 IDR、なお、1IDR あたり 0.0084 円で換算した場合、約 70 円)、総額 15.9 兆 IDR(同 1,334 億円、バンクダナモンの 2017 年第 3 四半期末時点の純資産額に対する倍率(PBR2.0 倍)に一定の調整を加えた価格)にて売り手より取得する予定です。第一段階は、本契約の締結から 3 営業日以内に実施される見込みです。第一段階での株式取得完了後も AFI はバンクダナモン発行済株式総数の過半を保有する見込みです。
- その後、三菱東京 UFJ 銀行は第二段階<sup>[2]</sup>、<sup>[3]</sup>として、関係当局等からの許認可取得を条件として、バンクダナモン発行済株式総数の 20.1%を売り手より追加取得し、その結果、バンクダナモン発行済株式総数の 40%を取得することになる予定です。当該許認可取得の状況次第ですが、第二段階は 2018 年第 2 から第 3 四半期に実施される見込みです。
- 第二段階での株式取得完了後、三菱東京 UFJ 銀行は第三段階<sup>[2]</sup>、<sup>[3]</sup>として、バンクダナモン発行済株式総数の 40%超を保有することに関する関係当局等からの許認可取得を条件として、AFI を含めた全てのバンクダナモン株主にバンクダナモン株式を保有し続けるか現金を対価として譲渡するか選択する機会を提供する予定です<sup>[4]</sup>。第三段階の株式取得の完了により、三菱東京 UFJ 銀行はバンクダナモン発行済株式の 73.8%以上を保有する見込みです。

<sup>[1]</sup> 本株式取得の実施には、関係当局からの許認可の取得、バンクダナモンにおける株主総会決議の取得を要するほか、この種の取引に一般的なクローリング条件の充足を条件としております。

<sup>[2]</sup> 第二段階および第三段階にて取得するバンクダナモン株式の価格は、第一段階と類似した手法に基づく予定です。各段階の価格が、前段階の価格より高くなるか、低くなるか、同一となるかは未定です。第二段階と第三段階の価格は、適時に改めて公表させていただきます。

<sup>[3]</sup> インドネシア当局規制に基づき、第二段階および第三段階で強制的公開買付は生じない予定です。

<sup>[4]</sup> 第三段階の取引の詳細については、適時に改めて公表させていただきます。

## 2. 戦略的意義

MUFG は、バンクダナモンへの出資により、アジア・オセアニア地域の事業戦略において、新たな重要な節目を迎えたこととなります。MUFG および三菱東京 UFJ 銀行は、これまでに、同地域においてプレゼンスを大幅に拡大し、事業内容の多様化に取り組むとともに、グループ傘下の商業銀行を通じ、バンクダナモンと同様のアジアの有力銀行との戦略的提携を通じて同地域の商業銀行業務を強化してまいりました<sup>[5]</sup>。インドネシアにおいて、MUFG は 50 年の歴史を有し、現在、三菱東京 UFJ 銀行においては、ジャカルタ支店、スラバヤ出張所、および、同国内におけるその他の 9 つの出張所を有しています。

インドネシアは、ASEAN 最大の経済規模を誇り、魅力的な人口構成や豊かな資源、安定した政治情勢などを背景に、今後さらなる経済成長が期待されております。MUFG は、バンクダナモンへの出資により、拡大する同国内のリテールならびに中堅中小企業取引の基盤を確立し、インドネシアへ進出を目指すお客さま、および同地域での事業拡大を目指すお客さまにとって、より幅広い総合的なサービスを提供する事業基盤を確立してまいります。

バンクダナモンは、現在当期利益でインドネシア第 5 位の大手商業銀行であり、インドネシアの地場の銀行業界において、豊富な経験と高い能力を有する経営陣、健全な事業基盤、高い収益性を誇る金融機関です。本株式取得により、MUFG の財務基盤、日系企業取引基盤、グローバルネットワーク、および、グループの業界知見等を享受することが可能となります。長期的かつ友好な株主として、MUFG は、バンクダナモンとのシナジーを発揮するとともに、現在のインドネシアの有力な地場銀行としてのポジションを更に強化させ、バンクダナモンのお客さまに対し、より質の高いサービスを提供してまいります。

<sup>[5]</sup>三菱東京 UFJ 銀行は、タイ王国のアユタヤ銀行の発行済株式総数の約 77%、ベトナム社会主義共和国のヴィエティンバンクの同約 20%、フィリピン共和国のセキュリティバンクの同約 20%を保有しております。

## 3. Fullerton Financial Holdings (FFH) について

Fullerton Financial Holdings (FFH) は、新興市場における金融機関および関連サービスに対する戦略的投資を行っております。マスマーケットおよび中小企業の顧客セグメントに重点を置いたユニークなビジネスモデルの構築および投資先企業のデジタルイノベーションの実現を通して、株主価値の向上を図っております。FFH はシンガポールに拠点を置く投資会社である Temasek Holdings (Private) Limited の完全子会社です。2016 年 12 月末時点で、FFH は 9 カ国において 10 社の金融機関に投資しており、総資産は 285 億シンガポールドルに上ります。その他の情報はこちらのリンクをご参照ください：[www.fullertonfinancial.com](http://www.fullertonfinancial.com)

以 上

### MUFG による将来予想に関する記述についての注意事項

本資料には将来予想に関する記述が含まれています。将来予想に関する記述には、「予定する」、「見込む」やその他類似する表現により将来の状況等を説明しております。実際の結果等は、将来予想に関する記述にて見込まれる予想とは大幅に異なる場合があります。MUFG は、法令により求められる場合を除き、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を負いません。したがって、本資料に含まれる将来に関する記述はあくまでも現時点でのものであり過度に依存いただくことのないようご注意ください。